

(写)

## 令和3年度 第2回 新宿区特別職報酬等審議会 議事録要旨

【日時】 令和3年11月25日(木) 午前10時00分から

【会場】 区役所本庁舎6階 区議会第2委員会室

(出席委員) 井元 毅 大崎 秀夫 小畑 通夫 桑原 公平  
濱田 一成 鱒沢 信子 松川 英夫 六田 文秀  
渡辺 芳子

(事務局) 総務部長 針谷 弘志 総務課長 鯨井 庸司 財政課長 遠山 竜多

### 【会議概要】

#### 1 定足数確認 (総務課長)

「新宿区特別職報酬等審議会条例第6条」に定める定足数については、9名の委員の出席により会議が成立する旨報告

#### 2 開会

#### 3 議事録署名委員の選出

小畑委員、桑原委員の2名を選出

#### 4 諮問

区長から審議会に、「新宿区特別職の報酬等の改定について」諮問した。

(区長が公務のため、寺田副区長が代理で諮問)

#### 5 事務局説明

##### (1) 資料について説明

・「新宿区の財政について(新宿区財政白書)」(財政課長)

・「特別職報酬等審議会への諮問事項」

(総務課長) 諮問の具体的な事務局案として、次のとおり提案する。

・区長、副区長、教育長、常勤監査委員及び区議会議員の期末手当支給月数を、現行から0.15月引き下げる。これを令和4年3月に支給する分から実施する。

#### 6 質疑応答

(会長) 他区の報酬等審議会の動向は把握しているか。

(総務課長) 11月の中旬に電話での聞き取りを行っている。引き下げの意向を示しているのが23区中20区で、いずれも期末手当の改定を検討している。その内容に

については新宿区同様に月数で検討している区がある一方、引き下げ率での案分を検討している区もある。

引き下げの時期については、新宿区同様に3月での実施が多い印象だが、3月に支給のない区については12月で実施するとも聞いている。

(井元委員) 区長、副区長をはじめ議員報酬について、新宿区が23区の中で下位になっていることに驚いたのが正直な感想だ。

この審議会は特別職の報酬についてのものだが、一般職の給与についてはどうなっているのかも伺いたい。

(総務課長) 特別区においては一律の給与制度となっているのが前提である。しかし、ラスパイラス指数でみると23区は他の自治体よりも少し低く、新宿区はその23区の平均の中でもさらに少し低くなっているというのが一般職の状況である。

(会 長) かつての審議会でも、新宿区の水準の低さについて議論になったことがある。制度として運用してきた結果であり、当面はやむを得ないと感じている。

今回、諮問案について異議は出ていない。このまま異議なしということであれば、議論はひとまず区切らせていただき、これまでの審議内容を踏まえて、答申案文を作成する。

(一 同) 異議なし。

#### ※休憩再開後

(会 長) 事務局に答申案文の朗読を求める。

(総務課長) 一答申案文朗読—

(会 長) 答申案文について、質問や意見はあるか。

(一 同) 異議なし。

(会 長) 今回の諮問に対する区長宛ての答申は、概ねこの内容で準備を進める。以上で本日の議事を終了する。区長からあった諮問に対する答申は、後ほど審議会を代表して私から区長に渡す。これで審議会を閉会する。

## 7 閉会

議事録署名委員	省 略	印
議事録署名委員		印